

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和5年9月29日
タイトル	第19回 山王海ダム 湖と森のふれあい研修～動物と共生する森を創ろう～
水土里レポーター名	山王海土地改良区 戸来 星奈

令和5年9月24日（日）に、「第19回 山王海ダム 湖と森のふれあい研修」を開催しました。
この研修は、NPO法人紫波みらい研究所の協賛により開催しているもので山王海ダムと平成の森を会場とし、一般参加者19名に参加いただきました。

山王海ダムでは、ダムの歴史についてはなしを聞いたり、施設見学をしながら農業用施設がもつ多面的機能等について学んでいただきました。普段は見学できない施設内部に参加者からは質問や感動の声が多く寄せられ、職員にとっても有意義な時間となりました。

施設見学後は堤体ウォーキングをしました。堤体から見たダムの景観は格別なものでした。

昼食は地産地消の食材で作られた「山王海ダムカレー」を提供し、おかわりをする方も多くいらっしゃるほど、とても好評でした。

午後からは平成の森にて自然観察会、栗拾い、植樹を行いました。

自然観察会では熊が木をひっかいた跡が見つかり、その近くには熊が器用に栗の実を食べた様子がうかがえる殻が落ちていて、子供たちの視線は釘付けでした。植樹では親子で協力しコナラの苗木を植えました。とても仲睦まじい様子で楽しんで植樹をしていただき、今後の木の成長を心待ちにしているようでした。

今年は緑の募金活用事業（地域緑化活動推進事業）の補助金を活用しての開催でした。数年ぶりの晴天のもとでの研修会で、参加者の方々の笑顔がより一層際立っておりました。

農業用施設のもつ役割や重要性、多面的な機能をより多くの方に知っていただくよい機会となっておりますので、今後もこの活動は継続して実施していきたいと考えております。

【 記念撮影 】



【 施設見学 】



【堤体ウォーキング】



【昼食】



【自然観察会・栗拾い・植樹】

